

# 内航海運の現状と内航船の職場環境を説明

小比加会長が館山海上技術学校の父兄対象サマーセミナーで講師

国立館山海上技術学校が7月25・26の両日開催した夏季恒例のサマーセミナーに小比加恒久全海運会長が講師に招かれ、同校生徒の父兄40数名に内航海運の現状と内航船の職場環境などを説明し、好評を博した。

この行事は、通常は寮生活を送っている生徒達が夏休みで自宅に戻って間もないこの時期



講演する小比加会長（左）

に、土日曜日を利用して毎年開催されている。同校では、父兄に生徒達と同じ学校生活を体験してもらおうと企画しているもので、参加した父兄達からは「中学校卒業直後から親元を離れた子供のことがよく理解できる」と評価され、今回も参加者数は在学生数の3分の1に上った。

海上技術学校及び海上技術短期大学校は、内航船の幹部候補生を育成する学校であるが、社会全般には内航海運が

よく知られていないことから、その重要性を父兄に理解してもらうとともに、安心して生徒達を内航海運業界に送り出してもらえるようにとの意図に基づくもので、全海運は昨年もこの行事開催に協力し、小比加会長が講師をつとめている。

今回のサマーセミナーでは初日、小比加会長が父兄達とともに同校の校内練習船『望洋丸』に乗船し、続いて教室で講演、夕刻からは父兄達と同校中庭での懇親会



サマーセミナーに参加した父兄達

にも参加し、熱心に話し合いが持たれた。また、2日目は父兄達が同校内で座学や実習などの授業を受け、参加した父兄達は有意義な時間を過ごした。